

MDPRO ミニコラム：医療機器ベンチャーを取り巻く環境と医療機器企業に求められる役割

10月10日(水)～12(金)にかけて、昨年に引き続いて2回目となるジャパン・ヘルスケアベンチャーサミットが開催されました。

厚生労働省によるヘルスケアベンチャー支援としては昨年、ベンチャー企業等の支援策の企画立案を目的に設置されたベンチャー等支援戦略室や今年、医療系ベンチャーのトータルサポート事業として立ち上げられたポータルサイトのMEDISOが挙げられます。

一連のヘルスケアベンチャーの支援体制が整うなかで医療機器領域におけるベンチャー企業の活動は活発になっているのでしょうか？

そこで、昨年度のベンチャー等支援戦略室における相談対応実績(表：ベンチャー等支援戦略室における「医療系ベンチャー相談」対応実績 参照)を確認すると製品等の分類別の相談件数では医療機器(プログラム機器含む)の相談件数が28/76件と最も多くなっています。このことからヘルスケアベンチャーのなかでも、医療機器ベンチャーの活動が活発になっていることが考えられます。

**ベンチャー等支援戦略室における
「医療系ベンチャー相談」対応実績 (H29年度)**

| 相談者 | 相談件数 | 企業等件数 | 製品等 | 相談件数 | 企業等件数 |
|------------------------------|------------|------------|-------------------------|------------|------------|
| ベンチャー企業 (アカデミア発の企業を含む) | 51件 | 49件 | 医薬品 | 23件 | 16件 |
| アカデミア | 5件 | 4件 | 医療機器 (プログラム機器含む) | 28件 | 23件 |
| その他 (ベンチャーキャピタル、 大手製薬企業等) | 20件 | 19件 | 再生医療等製品 | 9件 | 9件 |
| 合計 | 76件 | 72件 | 事業関係 (CRO等) | 1件 | 1件 |
| | | | 全般 | 15件 | 23件 |
| | | | 合計 | 76件 | 72件 |

出所：厚生労働省における医療系ベンチャー支援策について

また、経済産業省が手がけるユニコーン(評価額が10億ドル以上の非上場ベンチャー)や上場ベンチャーを2023年までに20社創出することを目標にしたスタートアップ支援プログラム、J-Startupにおいても、選出された92社の中にも、医療機器ベンチャーが数多く選出されています。

行政によるベンチャー企業の育成環境が整備されてきたことにより、国内においても徐々に医療機器ベンチャーの活動が顕在化してきたといえます。そのなかで医療機器企業が担う役割としてはベンチャーが持つシーズやアイデアを資金的な支援を含めて事業化を後押しすることであると考えます。

大手の医療機器企業においては既に海外の医療機器ベンチャーへの投資を行っている企業は少なくないですが、今後は海外だけではなく国内医療機器ベンチャーも視野に入れた事業提携やCVC(コーポレートベンチャーキャピタル)による資金提供等の活動が必要と考えます。

(関連 web ページ)

MEDISO : <https://mediso.mhlw.go.jp/>

J-Startup : <https://www.j-startup.go.jp/>

(医療機器政策調査研究所 木村 健一郎 記)